

**製品名: TNF-IP 8 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19090**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	23kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TNFAIP8 TNFAIP8; Tumor necrosis factor alpha-induced protein 8; TNF alpha-induced protein 8; Head and neck tumor and metastasis-related protein; MDC-3.13; NF-kappa-B-inducible DED-containing protein; NDED; SCC-S2; TNF-induced protein GG2-1
別名	
遺伝子 ID	25816.0
SwissProt ID	O95379
免疫原	抗血清はヒト TFIP8 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 31-80

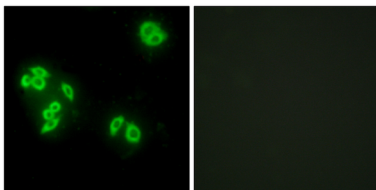
**背景**

発生段階: 胎児の肝臓、肺、腎臓で高レベルで発現しています。機能: アポトーシスの負のメディエーターとして作用し、腫瘍の進行に関与している可能性があります。カスパーゼ-8の活性を阻害することでTNFを介したアポトーシスを抑制しますが、プロカスパーゼ-8の処理は阻害せず、結果としてBID切断とカスパーゼ-3の活性化を阻害します。誘導: 核因子-KB (NF-KB) およびTNFによって誘導されます。TNFによる誘導はNF-KBの活性化に依存します。類似性: TNFAIP8ファミリーに属します。組織特異性: 脾臓、リンパ節、胸腺、甲状腺、骨髄、胎盤で高レベルで発現しています。さまざまな腫瘍組織、非刺激およびサイトカイン活性化培養細胞の両方で高レベルで発現しています。脊髄、卵巣、肺、副腎、心臓、脳、精巣、骨格筋に低レベルで発現しています。発育段階: 胎児の肝臓、肺、腎臓に高レベルで発現しています。機能: アポトーシスの負のメディエーターとして作用し、腫瘍の進行に関与している可能性があります。カスパーゼ-8の活性を阻害することでTNF媒介アポトーシスを抑制しますが、プロカスパーゼ-8の処理は阻害せず、結果としてBID切断およびカスパーゼ-3活性化が阻害されます。誘導: 核因子KB (NF-KB) およびTNFによって。TNFによる誘導はNF-KBの活性化に依存します。類似性: TNFAIP8ファミリーに属します。組織特異性: 脾臓、リンパ節、胸腺、甲状腺、骨髄、胎盤に高レベルで発現しています。様々な腫瘍組織、非刺激培養細胞、サイトカイン活性化培養細胞において高レベルで発現しています。脊髄、卵巣、肺、副腎、心臓、脳、精巣、骨格筋においても低レベルで発現しています。

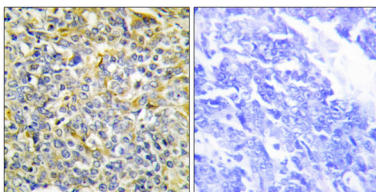
## 研究分野

免疫学

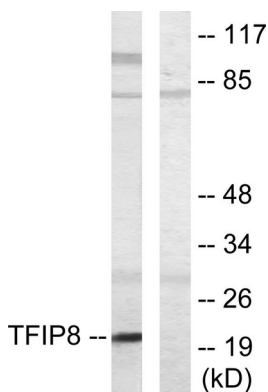
## 画像データ



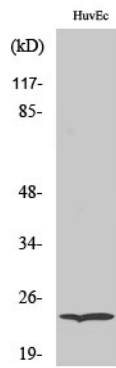
TFIP8抗体を用いたA549細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



TFIP8抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



TFIP8抗体を用いたHUVEC細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーン合成ペプチドでブロッキングされている。



TNF-IP8 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。